

あけましておめでとうございます

好天に恵まれて穏やかなお正月を迎えることができました。皆様におかれましてはご家族おそろいで新しい年を迎えられたことと存じます。心からお慶び申し上げます。本年もよろしくお願いいたします。

令和最初のお正月です。そして2020年はオリンピック・パラリンピックイヤーでもあります。日本はもちろんのこと世界中の選手の活躍から多くの勇気や感動をもらうことができることでしょうか。オリンピック自国開催は、子どもたちの心にも生涯の財産となる記憶が刻み込まれることでしょうか。

麻績小学校は昨年、50周年という節目を迎えました。今年からは、新たな半世紀に向けて一歩踏み出していくこととなります。子どもさんの一層の活躍、健やかな成長を願うばかりです。

さて、三学期がスタートしました。

始業式には、1・3・5年生の代表児童が新年の抱負を堂々と発表しました。

1年 菊池 颯太くん

3年 高野真まるさん

渡辺 子龍くん

渡辺 遥陽さん

5年 花岡 拓海くん

の5名です。とてもいいなあ、と思うのはそれぞれにとっても具体的な内容であったことです。

「床そうじが1回しか雑巾がけできなかったのを3回できるようになる」「はずかしがらずに発表する。そのために緊張しても好きなことを思い浮かべて話す」「駅伝大会に選手として出場できるように、毎週の月・木曜日練習を休まない」など。漠然とした願いに留まらず、より具体的なめあてを持ち、どうすればそれを実現できるかまで明確に考えていること。それぞれの学年に応じて誰もがそのことをできていることは、立派だと思いました。

3学期は、わずか48日間ととても短いです。一日一日を一層大切に過ごしたいと思います。そして、全校の皆さんが、個々のめあて実現にむけて取り組みたいものです。

* * * * *

昨年末にお伝えすることができなかつたいくつかについても、ここで触れさせていただきます。



赤い羽根共同募金

児童会が昨年末、全校の皆さんに協力を呼びかけた『赤い羽根共同募金』の活動で、総額10,241円が集まりました。先月26日（木）、児童会三役の皆さんが高野村長さんにそれをお届けしました。高野村長さんは、このお金を福祉活動に役立ててくださることをお約束くださいました。

初めて村長室に入らせていただき、緊張感もひとしおの皆さんでしたが、村長さんからお言葉をかけていただいたり、皇族の方々が麻績を訪れたときの写真を見せていただいたりするうちに次第にいつもの調子を取り戻しました。初代村長さんが座られて以来、代々村長さんが遠慮して席に着かなかったという、「麻績村備品1号」の机についても紹介してくださいました。

6年生はこの先、『子ども議会』（21日・火）に参加させていただくので、



村政についても学

習を進めていきます。ふるさと麻績の将来についても考えていくことでしょう。福祉のあり方についても、この募金をきっかけに興味をもってほしいものです。

『赤い羽根共同募金』につきましてはお家の皆様にも大変ご協力いただきました。

ありがとうございました。

6年生ビブリオバトル参加

前号でお伝えしました中学校体験学習の機会に、今年も6年生が『ビブリオバトル』に参加してきました。中学生のグループに一人（二人）で加わり読書



紹介をすることは、事前にリハーサルをしてきてはいるものの、それでも大変なことに思われます。そんな緊張感を乗り越えて、笑顔や身振りを交えた発表をする子もあり、内容的にも今年にはさらに充実してきた感があります。帰校後には、「疲れたあ」という声がありました。6年生、大健闘して体験学習を終えました。